MPC 2.10 のアップデート

新機能

4 つの新しいインストゥルメントプラグイン

MPC ハードウェアに、4 つの新しいプラグイン・インストゥルメント■AIR Hype ■AIR Mellotron

■AIR Solina ■WayOutWare Odyssey が加わりました。

新しいプラグインを使用するには:

- 1. akaipro.com のアカウントから Synth Content コンテンツをダウンロードします。
- 2. ダウンロードした Synth コンテンツ内を進むと Synths フォルダがありますのでそのフォルダだけを、SD カードまたは USB ドライブのルート上にコピーして、MPC デバイスに挿入してください。

メモ:スタンドアロン型 MPC に増設ドライブを内蔵させて Synths フォルダをこのドライブにコピーすることをお勧めします。

AIR Hype

AIR Hype プラグインは、モダンなスタイルのデュアル・オシレーター・シンセサイザーで、サウンドの組み合わせを無限に広げる多彩な内蔵エフェクトと、素早い調整を可能にするマクロコントロールを備えています。

Macro

パラメーター

このタブでは、プラグインのマクロ設定を調整が可能です、また Effect のオン/オフスイッチはタブを切り替えても常に表示されています。

説明

数値範囲

Macros	6 つのコントロールは各プリセットに対応	変化
Cutoff	フィルターのカットオフ適用量	0–100%
Reso	フィルターのレゾナンス適用量	0–100%
Mod	モジュレーション効果の適用量	0–100%
Distortion	ディストーションエフェクトの適用量	0–100%
Delay	ディレイエフェクトの適用量	0–100%
Reverb	リバーブエフェクトの適用量.	0–100%
Pumper	パンパーエフェクトの適用量	0–100%
Master	マスター出力レベル	-inf – +6.0 dB



1



Filter / Amp

このタブでは、フィルターとアンプリチュード・エンベロープの設定を調整します。



パラメーター		説明	数値範囲
Filter	Cutoff	カットオフ周波数	0–100%
	Reso	共振量	0–100%
Filter Envelope	Attack	フルレベルになるまでの時間	0–100%
	Decay	サステインレベルに達する時間	0–100%
	Sustain	サステインレベルを維持する時間	0–100%
	Release	リリース時フィルターが消滅するまでの時間	0–100%
	Envelope Depth	カットオフに加えられるエンベロープ量	0–100%
	Envelope Velocity	ベロシティがフィルターエンベロープに与える影響の大きさ	0–100%
Amp	Spike	アンプリチュード・アタックにベロシティを追加	0–100%
	Spike Decay	スパイクが減衰するまでの時間	0–100%
Amp Envelope	Attack	フルレベルになるまでの時間	0–100%
	Decay	サステインレベルに達するまでの時間	0–100%
	Sustain	サスティンレベルを維持する時間	0–100%
	Release	リリースしてから音が消えるまでの時間	0–100%
	Fade	エンベロープ・サステイン・レベルに追加される量	0–100%
	Velocity	ベロシティがアンプリチュードエンベロープに与える影響の大きさ	0–100%



Effects 1

このタブでは、低周波オシレーター、モジュレーション、ディストーション、 ハイプの各エフェクトの設定を調整します。



パラメーター		説明	数値範囲
LFO	Rate	LFO のスピード	
		Sync が 1st Note、Each Note、Off 設定の場合	0.03 – 30.00 Hz
		Sync が Temp+Note、Tempo+Beat 設定の場合	8/4 - 1/64
	Sync	LFO syncを on/off 有効時の同期方法を設定	Off、1st Note、Each Note、Tempo+Note、 Tempo+Beat
	Depth	LFO モジュレーションの適用量	0–100%
Mod	Rate	変調の速度	0.05 – 20.00 Hz
	Adjust	ウェット信号がオフセットされる時間	0.0 – 24.0 ms
	Depth	モジュレーションの適用量	0–100%
	Mix	モジュレーションエフェクトのウェットバライ量	0–100%
Distortion	Drive	ドライブの適用量	0–100%
	Bias	真空管パワーアンプに送られる電圧量を再現	-100 - 0 - 100%
	Output	ディストーション後のアウトプットレベル	0–100%
	Mix	ディストーションエフェクトのウェット/ドライ量	0–100%
Нуре	Low	低音域の減衰と強調	-12.0 – +12.0 dB
	Lo-Mid	中低音域の減衰と強調	-20.0 – +20.0 dB
	Hi-Mid	中高音域の減衰と強調	-20.0 – +20.0 dB
	High	高音域の減衰と強調	-12.0 – +12.0 dB



Effects 2

このタブでは、ディレイ、リバーブ、コンプレッサー、パンパ―、リミッター 各エフェクトの設定を調整します。



パラメーター		説明	数値範囲
Delay	Time	ドライシグナルとディレイシグナルの間の時間	1/16 – 16/4
	Feedback	ディレイラインにフィードバックされる信号量	0–100%
	Freq	ディレイのフィルター・カットオフ周波数を調整	100 – 16000 Hz
	Mix	ディレイエフェクトのウェット/ドライ量	0–100%
	L/R	左/右ステレオフィールドのディレイ設定	L 50:100 – R 100:50
Reverb	Pre-Delay	ドライ信号と反響音の間の時間	0.0 – 250.0 ms
	Time	リバーブテールの長さ	0.3 – 60.0 s
	Mix	リバーブエフェクトのウェット/ドライ量	0–100%
Compressor	Threshold	コンプレッサーが適用されるレベル	-30.0 – +10.0 dB
	Ratio	コンプレッション比率	1.0:1 – 20.0:1
	Attack	コンプレッションされる時間	0–100%
	Output	コンプレッション後のアウトプットレベル	-20.0 – +20.0 dB
Pumper	Rate	パンパーエフェクトの速度	Bar、1/2 – 1/32T
	Depth	エフェクトの減衰量	0–100%
	Release	エフェクトが解除される時間の長さ	0–100%
Limiter	Drive	リミッターエフェクト後に加えるドライブ量	0.0 – 30.0 dB



Setup

このタブを使って、プラグインの設定、パラメーターを調整します。



パラメーター		説明	数値範囲
Setup	Transpose	プラグインの移調(半音単位)	-36 – +36
	Tune	プラグインの微調整(セント単位)	-100 - +100
	Glide Time	ある音のピッチから次に演奏される音にスライドする時間	0 ms – 32 s
	Glide Mode	全てのトリガーノート/レガートノートのグライドの切り替え	Off、Legato、All
	Mode	ポリフォニック/モノフォニック設定の切り替え	Poly、Mono
	Del-Rev	ディレイとリバーブ信号のレベル	-inf – +6.0 dB
	Master	プラグイン全体の出力レベル	-inf – +6.0 dB
MIDI Control			
Mod Wheel	Destination	Mod Wheel データをいずれかのコントロールに送信	Pitch、Cutoff、Reso、Amp、 Pan
	Depth	モジュレーションの適用量	
		(デスティネーションが)ピッチ設定の場合:	-12.0 - +12.0
		Cutoff、Reso、Amp、Pan 設定の場合:	-100 – 0 – 100%
	LFO	モジュレーションを Control LFO と連動	Off、On
Aftertouch	Destination	アフタータッチデータをいずれかのコントロールに送信	Pitch、Cutoff、Reso、Amp、 Pan
	Depth	モジュレーションの適用量	0–100%
		(デスティネーションが)ピッチ設定の場合:	-12.0 - +12.0
		Cutoff、Reso、Amp、Pan に設定の場合:	-100 - 0 - 100%
	LFO	モジュレーションを Control LFO と連動	Off、On
Control LFO	Sync	Control LFO sync の on/off 有効時の Control LFO 同期設定	Off、First Note、Each Note、 Tempo + Note、Tempo + Beat
	Rate	Control LFO のモジュレーションの速度	
		Sync が First Note/Each Note 設定の場合:	0.03 – 30.00 Hz
		Sync が BPM&Note/BPM&Beat 設定の場合:	8/4 – 1/64
	Shape	Control LFO のウェーブシェープ	Sine、Triangle、Sawtooth、 Square、S&H Random、S&H Alternate、Random Drift、Slow Drift



AIR Mellotron

AIR Mellotron プラグインは、1960年代に開発されたアナログ再生式 (磁気テープを媒体とする)のサンプル音声再生楽器をソフトウェアで 再現したもので、オリジナルのテープサンプルをクリーンとダーティーの 両方で再現します。



Model

このタブでは、テープサンプルの設定を調整します。

パラメーター	説明	数値範囲
Sample	テープループのサンプルを選択	8 Voice Choir、Boys Choir、Flute、Violins 1、 Violins 2、Violin
Clean	クリーンなサンプル音の on/off	Off、On
Formant	フォルマント周波数の高調波共振を減少または増加	-12 - 0 - +12
Age	サウンドデグレードの適用量	0–100%
Smpl Start	テープループサンプルの開始点	0–100%
Cutoff	フィルターのカットオフ量	0–100%
Attack	フルレベルになるまでの時間	0 ms – 32 s
Release	ノートオフ後に音が消えるまでの長さ	0 ms – 32 s
Vel > Amp	ベロシティがアンプリチュードコントロールに与える影響の大きさ	0–100%
MW Vib	Mod Wheel からのビブラート量	0–100%
AT Vib	アフタータッチでのビブラート量	0–100%
Vib Speed	ビブラートエフェクトのモジュレーション速度	0.03 – 30.00 Hz
Key On	キーアクションのノイズオン/ノートオンの on/off	Off、On
Key Off	キーアクションのノイズオン/ノートオフの on/off	Off、On
On Vol	キーオン時のノイズ音量	0–100%
Off Vol	キーオフ時のノイズ音量	0–100%
Smpl Poly	使用可能なボイス数	1–40
Level	プラグイン全体のレベル	0–100%



AIR Mellotron

Flavor / Compressor / EQ

このタブでは、フレーバー、コンプレッサー、EQの各エフェクトの設定を行います。各エフェクトは、右側のボタンでオン/オフを切り替えることができます。



パラメーター		説明	数値範囲
Flavor		画面右のボタンでフレーバーの on/off 切り替え	Off、On
	Timbre(黒枠内)	エミュレーションタイプを選択	32 種類
	Depth	サウンドに適用される音色エミュレーション量	0–100%
	Flutter	音揺れの量	0–100%
	Distortion	ヴァイナルディストーションのノイズを信号に加える量	0–100%
	Noise	クリック音やポップ音などのビニールノイズを信号に加える量	0–100%
Compressor		右上のボタンで、コンプレッサーの on/off	Off、On
	Threshold	コンプレッサーが適用される信号レベル	-30.0 – 0.0 – +10.0 dB
	Ratio	コンプレッション比率	1.0:1 – 20.0:1
	Attack	コンプレッションされる時間	0–100%
	Makeup	コンプレッション後のアウトプットレベル	-20.0 - 0.0 - +20.0 dB
EQ		右上のボタンで、EQの on/off 切り替え	Off、On
	Low	低音域の減衰と強調	-12 – 0 – +12 dB
	Low Mid	中低音域の減衰と強調	-20 – 0 – +20 dB
	High Mid	中高音域の減衰と強調	-20 – 0 – +20 dB
	High	高音域の減衰と強調	-12 – 0 – +12 dB



AIR Mellotron

Delay / Spring Reverb

このタブでは、ディレイとスプリング・リバーブ・エフェクトの設定を調整します。それぞれのエフェクトは、右側のボタンでオン/オフできます。



パラメーター		説明	数値範囲
Delay		画面右のボタンでディレイの on/off	Off、On
	Time	ドライシグナルとディレイシグナルの間の時間	1/16 – 16/4
	L/R Ratio	左/右ステレオフィールドのディレイ設定	50:100 – 100:100 – 100:50
	Feedback	ディレイラインにフィードバックされる信号量	0–100%
	Mix	ディレイエフェクトのウェット/ドライ量	0–100%
	Reso LP Freq	フィードバックレゾナンスのローパス周波数	100 – 16000 Hz
	Reso Bell Freq	フィードバックレゾナンスの中心周波数	100 – 16000 Hz
	Reso Bell Gain	フィードバックレゾナンスに適用されるゲイン量	0–100%
Spring Reverb		画面右のボタンで、スプリング・リバーブの on/off	Off、On
	Pre-Delay	ドライ信号と反響音の間の時間	0 – 250 ms
	Time	リバーブテールの長さ	1.00 – 10.00 s
	Low Cut	リバーブのローカットフィルターの中心周波数	20 – 1000 Hz
	Diffusion	リバーブの反射音の密度の増加率 低い設定:個々の反射音の存在感が増加 高い設定:反射音は均一	0–100%
	Width	リバーブのステレオ幅	0–100%
	Mix	リバーブエフェクトのウェット/ドライ量	0–100%



AIR Solina は、クラシックなストリングスシンセサイザーを再現したプラ グインです。



Ensemble

このタブでは、ボイスとアンサンブルの設定を調整します。

パラメーター	説明	数值範囲
Voice	選択したボイスの有効/無効切り替え	Contra Bass、Cello、 Viola、Violin、Trumpet、 Horn
Voice Volume	選択したボイスドの音量	-Inf – 0 – +12
Voice Panning	選択したボイスのパンニング	L64 – C – R64
Voice Octave	選択したボイスのオクターブ調整	-2、-1、0 (Contra Bass) 0、+1、+2 (Violin) -1、0、+1 (All others)
Ensemble	アンサンブルエフェクトの on/off	Off、On
Bass Volume	ベース・ボイスの音量調整	0–100
Dual	有効の場合:低音ボイスと高音ボイスの両方が、オクターブに関係なく すべてのキーで演奏され、無効の場合:低音ボイスは低いオクターブ で、高音ボイスは高いオクターブで演奏されるように分割されます。	Off、On
Upper Volume	アッパーボイスの音量を調整	0–100
Master Level	プラグイン全体のレベル	0–100%



Sound

このタブでは、プラグインサウンドの追加設定を行います。



パラメーター	説明	数值範囲
Crescendo	最大音量になるまでの時間	0 ms – 32 s
Sustain	鍵盤を離した後も音が鳴り続ける時間	0 ms – 32 s
Formant	共鳴周波数の減少または増加	-12 - 0 - +12
Filter	ローパスフィルターの周波数を調整	0–100%
Age	デチューンとドリフトの適用量	0–100%
Velocity to Amp	ベロシティがアンプリチュードコントロールに与える影響の大きさ	0–100%
MW Vibrato	Mod Wheel からのビブラート量	0–100%
AT Vibrato	アフタータッチでのビブラート量	0–100%
Vibrato Speed	ビブラートエフェクトのモジュレーション速度	1.00–30.00 Hz
Sample Poly	使用可能なボイス数	1–50



Flavor

このタブでは、フレーバーとヴァイナルエフェクトの設定を調整します。



パラメーター		説明	数値範囲
Flavor		フレーバーの on/off	Off、On
	Timbre(黒枠内)	エミュレーションタイプを選択	32 種類
	Depth	サウンドに適用される音色エミュレーション量	0–100%
	Distortion	ヴァイナルディストーションノイズを信号に加える量	0–100%
	Noise	クリック音やポップ音などのビニールノイズを信号に加える量	0–100%
	Flutter	音声再生時の速度変動量	0–100%
	Monofy	ステレオの広がりの減少	0–100%



Chorus / EQ

このタブでは、コーラスと EQ エフェクトの設定を調整します。右側のボタンを使用して各エフェクトのオン・オフを切り替えます。



パラメーター		説明	数値範囲
Chorus	Rate	コーラスのモジュレーションのスピード	0.05 – 20 Hz
	Depth	コーラスのモジュレーションの深さ	0–100%
	Tone	コーラスの明るさの減少または増加	-100 - 0 - +100%
	Mix	コーラスの Wet/Dry 量	0–100%
EQ	Low	低音域にかかるアッテネーションまたはブーストの量	-12 – 0 – +12 dB
	Low Mid	低中音域にかかるアッテネーションまたはブーストの量	-20 – 0 – +20 dB
	High Mid	高中音域にかかるアッテネーションまたはブーストの量	-20 – 0 – +20 dB
	High	高音域にかかるアッテネーションまたはブーストの量	-12 – 0 – +12 dB



Delay / Spring Reverb

このタブでは、ディレイとスプリングリバーブの設定を調整します。右側のボタンを使用して各エフェクトのオン・オフを切り替えます。



パラメーター		説明	数値範囲
Delay	Time	原音とエフェクト音の時間の間隔	1/16 – 16/4
	L/R Ratio	Time をステレオ音場の Left または Right で減少、オフセット やパンニングディレイを作成する場合に有用です。	50:100 - 100:100 - 100:50
	Feedback	ディレイにフィードバックされる信号の量	0–100%
	LP Freq	フィードバックレゾナンスのローパス周波数	100 – 16000 Hz
	Bell Freq	フィードバックレゾナンスの中央周波数	100 – 16000 Hz
	Bell Gain	レゾナンス周波数にかかるゲインの量	0–100%
	Mix	ディレイの Wet/Dry 量	0–100%
Spring Reverb	Pre-Delay	ドライ信号とリバーブ信号の時間の間隔の長さ	0 – 250 ms
	Time	リバーブの残響の長さ	1.00 – 10.00 s
	Low Cut	リバーブ信号のローカットフィルターの中央周波数	20 – 1000 Hz
	Diffusion	リバーブの反響の密度 低い設定値では、個々の音がよりはっきりと存在します。 高い設定値では、反響はより均一です。	0–100%
	Width	リバーブ信号のステレオ幅:高い値ではより広いステレオ分離 を得られます。	0–100%
	Mix	リバーブの Wet/Dry 量	0–100%



WayOutWare Odyssey

WayOutWare Odyssey プラグインは、WayOutWare の回路モデリング や信号処理の経験と専門知識を使用してオリジナルの Odyssey のキャ ラクターやニュアンスをとらえ、クラシックなアナログシンセサイザーを再 現したソフトウェアです。

説明



VCO 1/2

パラメーター

このタブでは、VCO の設定を調整します。

数値範囲

LFO/Audio		Audio に設定時は、Oct で示されたスタンダードなピッチが生成 され、Semi や CT は Frequency で設定します。 LFO に設定時は、VCO は LFO によってコントロールされ VCO2 を変調するために使用されるでしょう。	LFO、Audio
Frequency		オシレーターのピッチ調整を決定します。周波数帯の全体の幅は このセクションの最下部に記載されている LFO/ Audio の設定 に依存します。	0.174 – 1478.852 Hz
	Coarse	大まかなピッチ調整	-0.200 – 6.333 V
	Fine	精度の高いピッチ調整	0.000 – 0.875 V
VCO 1 FM	Source 1 Waveform	LFO によってかけられる周波数変調の波形の種類	LFO Sine、LFO Square
	Depth 1	周波数変調の深さ	0.0–100.0%
	Source 2	周波数変調のソースを決定	S/H、ADSR
	Depth 2	Source 2 の周波数変調の深さ	0.0–100.0%
VCO 1 Pulse	Width	パルス幅変調の幅	50.0–90.0%
VVIAth	Mod	パルス幅変調の深さ	0.0–100.0%
	Source	パルス幅変調のソースを決定	LFO Sine、ADSR
Sync		VCO2とVCO1の周波数をシンクさせるかを決定する。無効時は、両方のVCOを別のピッチを生成するために使用できます。	Off、On
Frequency		オシレーターのピッチ調整	8.706 – 1478.852 Hz
	Coarse	大まかなピッチ調整	-0.200 – 6.333 V
	Fine	精度の高いピッチ調整	0.000 – 0.875 V
VCO 2 FM	Source 1	変調のソースの種類。S/H Mixer か Pedal 選択時は、変調は Sample and Hold ミキサーかオプションの外部エクスプレッショ ンペダルによって制御されます。	LFO Sine、S/H Mixer or Pedal
	Depth 1	Source 1 の変調の深さ	0.0–100.0%
	Source 2	変調のソースの種類	S/H、ADSR
	Depth 2	Source 2 の変調の深さ	0.0–100.0%
VCO 2 Pulse	Width	パルス幅変調の幅	50.0-90.0%
Width -	Mod	パルス幅変調の深さ	0.0–100.0%
	Source	パルス幅変調のソースの種類	LFO Sine、ADSR



WayOutWare Odyssey

Mod/Env

このタブでは、LFO、Sample and Hold ジェネレーター、およびエンベロ ープジェネレーターの設定を調整します。



パラメーター		説明	数値範囲
LFO	LFO Tempo Sync	LFO スピードをプロジェクトのテンポにシンクさせ かを決定	る Off、On
	LFO Speed	LFO のスピード	
		Sync が Off 0 Sync が On 0)時 0.0925 – 20.0000 Hz)時 ^{4/4 – 1/64 beats}
Sample/Hold	Trigger	Sample and Hold ミキサーをトリガーするための ースを LFO か鍵盤出力のピッチいずれかに決定	ソ LFO Trigger、Kybd Trigger
	Source 1	VCO-1 の波形か Sample and Hold の入力として パルス幅変調を選択	C Saw、Pulse
	Source 2	ノイズジェネレーターか Sample and Hold の入け して VCO-2 のパルス幅変調を選択	と Noise、Pulse
	VCO-1	VCO-1 入力のレベル	0.0–100.0%
	Depth	ノイズか VCO-2 入力のレベル	0.0–100.0%
	Lag	Sample and Hold 出力ボルテージの平滑化	0.0–100.0%
AR	Attack	AR エンベロープジェネレーターのアタック	0.003 - 10.000 seconds
	Release	AR エンベロープジェネレーターのリリース	0.003 – 10.000 seconds
	Trigger Source	AR エンベロープジェネレーターに送る入力ソース 設定 KYBD Gate:鍵盤入力によってトリガーされます	、を KYBD Gate、LFO Repeat
		LFO Repeat:LFO によってトリガーされます。	0
ADSR	Attack	ADSR エンベロープジェネレーターのアタック	0.003 – 10.000 seconds
	Decay	ADSR エンベロープジェネレーターのディケイ	0.003 – 10.000 seconds
	Sustain	ADSR エンベロープジェネレーターのサステイン	0.000 – 10.000 V
	Release	ADSR エンベロープジェネレーターのリリース	0.003 – 10.000 seconds
	Trigger Source	エンベロープジェネレーターをトリガーする入力ソ ス	 KYBD Gate、LFO Repeat
	Repeat	Trigger Source が LFO Repeat 設定時、鍵盤 力を使用する場合: KYBD Repeat 、鍵盤入力ナ で自動的にトリガーする場合: Auto Repeat	入 KYBD Repeat、Auto Repeat シ



Mix/Filter

このタブでは、オーディオミックス、ルーティング、VCO、HPF および VCAを調整します。



MPC

パラメーター		説明 (1997) (19977) (1997) (19977) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1	NNC NNC
VCF	VCF Cutoff	フィルターのカットオフ周波数	0.680 – 10.645 V、or 16.02 - 16012.70 Hz
	VCF Res	フィルターのレゾナンス	0.000 – 0.800 Q
Audio Mixer	Noise/Ring Mod	ミキサーの入力へのノイズジェネレーターかリンク ジュレーションを選択	『モ Noise、Ring Mod
	Noise/Ring Mod Level	ミキサーへのノイズジェネレーターかリングモジュ ーションのレベル	レ 0.0–100.0%
	VCO-1 Input	ミキサーの VCO-1 入力の種類を選択	Saw、Pulse
	VCO-1 Level	ミキサーの VCO-1 入力のレベルを選択	0.0–100.0%
	VCO-2 Input	ミキサーの VCO-2 入力の種類を選択	Saw、Pulse
	VCO-2 Level	ミキサーの VCO-2 入力のレベルを選択	0.0–100.0%
VC Filter	VCO-1 Filter Modulation Source	VCO-1 フィルターモジュレーションの入力ソースな 設定: 鍵盤入力をソースとして使用する場合: KYBD CM Sample and Hold ジェネレーターかオプションの 部ペダルする場合: S/H Mixer か Pedal	痊 KYBD CV、S/H Mixer or Pedal ✔ 外
	CV Modulation Level	VCO-1 フィルターモジュレーションのレベル	0.0–100.0%
	VCO-2 Filter Modulation Source	VCO-2 フィルターモジュレーションの入力ソースる 設定	צ S/H、LFO Sine צ
	CV Modulation Level	VCO-2 フィルターモジュレーションのレベル	0.0–100.0%
HP Filter	Filter Modulation Source	フィルターモジュレーションのソースに使用するエ ベロープジェネレーターを選択	ン ADSR、AR
	CV Filter Modulation Level	VC Filter にかかるエンベロープフィルターモジュ ーションの量	レ 0.0–100.0%
	HPF Cutoff	ハイパスフィルターのカットオフ周波数	0.680 – 10.645 V、or 16.02 - 16012.70 Hz
VC Amp	Mod Source	アンプモジュレーションのソースに使用するエンベ ープジェネレーターを選択	CI ADSR、AR
	Mod	出力信号にかかるエンベロープモジュレーション	∎ 0.0–100.0%
	VCA Gain	VC Amp にかかるゲインの量	0.0–100.0%
	_		



WayOutWare Odyssey

Echo

このタブでは、テープエコーエフェクトの設定を調整します。



パラメーター		説明	数値範囲
Delay		左下隅のスイッチでディレイを On/Off	Off、On
Sync		Echo Time を Global Tempo にシンクする場合: On ミリ秒単位で Echo Time を調整する場合: Off	Off、On
	Sustain	エコーが鳴り続ける時間の長さ	0.0–100.0%
	Echo Mix	原音とエコーの Wet/Dry 量	100% Synth – 50/50% – 100% Echo
	Echo Time	原音とディレイ音の時間の間隔。スライダーか Echo Time フィー ルドを使用して値を変更	
		Sync が Off の時	0.02 – 5.00 seconds
		Sync が On の時	1/64 – 4/4



WayOutWare Odyssey

Settings

このタブでは、発音数、ポルタメントおよびパフォーマンスなどの一般的 な設定を調整します。



パラメーター		説明	数値範囲
Voice Count		使用可能な発音数。Duo に設定時、それぞれの VCO は別の ノートをコントロールします。	Duo、2-4
Portamento		ノート間をスライドする時間の長さ	0.000 - 1.500 seconds
	Exp Pedal	ポルタメントを制御するためのエクスプレッションペダルの有効 化・無効化	Off、On
	Footswitch	ポルタメントを有効にするためのフットスイッチの有効化・無効 化	Off、On
Transpose		キーボードにかかるトランスポーズの量	-2、0、+2 octaves
Noise		ノイズジェネレーターに使用するノイズの種類	White、Pink
Performance Velocity Depth	MW Vib LFO	モジュレーションホイールでかかるビブラート LFO の量	0.0–100.0%
	MW PWM	モジュレーションホイールでかかるパルス幅変調の量	0.0–100.0%
	KYBD Filter	演奏音のピッチと連動するフィルターの量	0.0–100.0%
	KYBD Amp	演奏音のピッチと連動するアンプの量	0.0–100.0%



AIR FX Bundle

今回のアップデートでは、MPC ハードウェアに AIR vocal effects suite、改良された AIR Diffuser Delay などの 9 つの新しい インサートエフェクトが搭載されました。

AIR Diff Delay

セッションのテンポに同期し、密度の量を調整して残響空間での 消失をエミュレートするディレイエフェクトです。

パラメーター	数値範囲	Default Value
Time		
Sync Off:	1 – 1000 ms	161 ms
Sync On:	1/64 – 4/4 (including Triplet and Dotted variations)	1/16D
Sync	Off、On	On
Width	0–100%	100%
Mix	0-100% (dry-wet)	40%
Feedback	0–100%	50%
Fdbk. Diffusion	0–100%	40%
Fdbk. High Damp	0–100%	35%
Low Cut	20.0 Hz – 1.00 kHz	20.0 Hz
Pan	-100 - 0 - +100%	0%

AIR Diode Clip

ドラムブレイクに僅かなざらつきを付け加えたり、過激な歪みを加えたりと、様々なシーンで使えるディストーションです。

パラメーター	数値範囲	Default Value
Input HP	200 – 800 Hz	500 Hz
Env Speed	0–100%	50%
Output HP	1000 – 4000 Hz	2000 Hz
Output LP	1000 – 12000 Hz	6000 Hz
Wide	Off、On	Off
Solo	Off、On	Off
Oversampling	Off、On	On
Level	-inf - 0.0 - +12.0 dB	0.0 dB

AIR Half Speed

どんな入力素材からでも素早くハーフスピードバージョンを作成します。内蔵のハイパスとローパスフィルタを使用してドラマ チックなトランジションを作成したり、フェードイン・アウトをパラメ ーターを使用して原音とエフェクト間でシンクしたトランジション を作成します。

パラメーター	数値範囲	Default Value
	Start、Stop	
Loop Length	1/16 – 4 Bars	1 Bar
Mode	*1.5、*2、*4	*2
Mix	0–100%	100%
Loop Fade	1.00 – 200 ms	4.90 ms
Fade In	Hard、Soft、1/16–4 Bars	Hard
Fade Out	Hard、Soft、1/16–4 Bars	Hard
HPF	Off、20.0 Hz – 20.0 kHz	Off
LPF	20.0 Hz – 19.9 kHz、Off	Off
Band	Off、On	Off

AIR Limiter

マスタリングやミキシングに最適な先読み型のリミッターです。

パラメーター	数値範囲	Default Value
Gain	-12.0 – 36.0 dB	0.0 dB
Ceiling	-24.0 – 0.0 dB	0.0 dB
Look Ahead	0.0 – 20.0 ms	0.0 ms
Release	10.0 ms – 10.0 s	316 ms
LF Mono	10.0 Hz – 1.00 kHz	10.0 Hz

AIR Stutter

幅の広いボリューム、パン、およびピッチのスタッター効果を 使用して驚くようなグリッチエフェクトを作成します。

パラメーター	数値範囲	Default Value
Intervals	1/64 - ¼	1/16
Sync	Off、On	On
Steps	2–64	5
Step Length	0–100%	100%
Freeze	Off、On	Off
Decay	50.0 ms – 100 s	6.99 s
Volume	-12.0 - 0.0 - 6.0 dB	-1.2 dB
Mix	0–100%	100%
Pan Mod	0–100%	50%
Pitch Mod	-100 - 0 - +100%	0%

今回のアップデートでは、MPC での声の使用を拡張するために、AIR Vocal insert effects suite も搭載されています。

AIR Vocal Doubler

広がりや厚みを加えた、ボーカルの複製を作成します。

パラメーター	数値範囲	Default Value
Voices	1–8	4
Stereo Spread	0–100%	70%
Lead Volume	-Inf – +6.0 dB	0.0 dB
Doubler Volume	-Inf – +6.0 dB	0.0 dB
Pitch	+/- 0–250%	+/- 38%
Pitch Speed	0–100%	75%
Timing	0–800 ms	63 ms

AIR Vocal Harmonizer

最大4パートまでのボーカルハーモニーと複雑な複製エフェクトを作成することができます。それぞれのボーカルパートは独立したレベル、ディレイ、フォルマント、モードおよびインターバルパラメーターを備えています。

パラメーター	数値範囲	Default Value
Кеу	A–G#	С
Scale	Major、Minor、 Harm Minor、Melo Minor、Dorian、 Phrygian、Lydian、 Mixo、Locrian、 Chromatic、Penta、 Maj Triad、Min Triad、Root	Major
Lead Volume	-Inf – 0.0 dB	0.0 dB
Harmony Volume	-Inf – 0.0 dB	-2.5 dB
Timing	0–100%	42%
Tuning	0–100%	14%
Smooth	5–200 ms	8 ms
Voice Range	Very Low、Low、 Mid、High、Very High	Mid
Root Mode Split	A–G#	E
Reference	420.0–460.0 Hz	440.0 Hz
Delay Sync	Off、On	On
Harmony 1–4	Off、On	1 On

AIR Vocal Tuner

自然な響きや過激にチューニングされた	ボーカル効果のため
にピッチ補正をかけます。	

パラメーター	数値範囲	Default Value
Detection	Unworried、 Default、Selective、 Picky、Blind	Default
Voice Range	Very Low、Low、 Mid、High、Very High	Mid
Key	A–G#	А
Scale	Major、Minor、 Harm Minor、Melo Minor、Dorian、 Phrygian、Lydian、 Mixo、Locrian、 Chromatic、Penta、 Maj Triad、Min Triad、Root	Minor
Retune Time	1–1000 ms	32 ms
Reference	420.0–460.0 Hz	440.0 Hz

2つの新しい AKAI 製のインサートエフェクトも搭載されました。

Sample Delay

左右のチャンネルにわずかに異なるディレイをかけて、パーカ ッション素材をずらしたり、ステレオの広がりを与えるために効 果的なプラグインです。

パラメーター	数値範囲	Default Value
Left / Right	0–11025 Samples / 0.0–250.0 ms	0 Samples / 0.0 ms
Samples / MS	Samples, MS	Samples
Link	Off、On	Off

Granulator

入力されたオーディオを小さな音の粒(Grain)に変え、それをループさせたり、ピッチシフトさせたり、新たな面白い方法で操作することができます。

パラメーター	数値範囲	Default Value
Grain Density	1.0–300.0 grains/sec	68.0 grains/sec
Grain Window	20.0–1000.0 ms	608.0 ms
Grain Length	10.0–200.0 ms	171.9 ms
Grain Feedback	-99.9 - 0.0 - 99.9%	0.0%
Trigger Randomization	0–100%	0.0%
Pitch Randomization	0–100%	0.0%
Pitch	-12.0 – 0.0 – 12.0 semitones	0.0 semitones
Fine	-50.0 - 0.0 - 50.0%	0.0%
Stereo	0–100%	0.0%
Mix	0–100%	34.6%
Freeze	Off、On	Off

スタンドアローンオーディオインターフェース対応

ほとんどの USB クラスコンプライアントや Linux クラスコンプライアントのオーディオインターフェースを使えるようになりました。 オーディオデバイスは 44.1 kHz のサンプルレートで 128 サンプルのバッファサイズに設定する必要があります。

注意:オーディオインターフェースの互換性に確証がない場合は、製造元に詳細をお問い合わせください。

外部オーディオインターフェースを使用するには:

- 1. Menu を開き歯車アイコンをタップして Preferences を開きます。
- 2. サイドバーから Audio Device 設定を選択します。
- 3. Audio Device フィールドを使用して Internal のサウンドデバイスか、接続されたクラスコンプライアントのオーディオイン ターフェースを選択します。

32 Inputs/Outputs にチェックすると最大 32 までの入出力を同時に使用することが出来ます。

注意: 同時最大入出力数を増やすと CPU のオーバーヘッドも増加します。

FX ラック / FX Racks

MPC ハードウェアで FX ラックをロードやセーブできるようになりました。 FX ラックは各チャンネル最大 4 つまでのインサートエフェクトの全ての パラメーター設定を含みます。また、FX ラックのプリセットのファクトリー ライブラリーも含まれ、ドラム、パーカッション、ボイス、ギター、エクスペ リメンタル、マスタリングなどの便利なカテゴリーに分けられています。

FX ラックをロードやセーブするには、いずれかの Inserts ページ (Program Edit、Channel Mixer や Pad Mixer モードなど)を開いて:

Akai フォルダーアイコンをタップしてファクトリープリセットをロードします。

FX フォルダーアイコンをタップしてセーブしたカスタムプリセットファイル をロードします。

ディスクアイコンをタップしてチャンネルの全てのインサートエフェクトの 設定を一つのファイルにセーブします。

Drum および Keygroup Program の改善

ドラムとキーグループプログラムにより多くの機能と改善点を加え、エディターの使い勝手を大幅に更新しました。

サンプルテイル / Sample Tail

ドラムプログラムはチョップしたサンプルにオーディオテイルを追加する ための Tail Length と Tail Start パラメーターを備えました。これはサ ンプルの終端を不意に途切れさせたり、より自然なサウンドや実験的な ループエフェクトを作り出すのに便利です。

サンプルのテイルを調整するには:

- 1. ドラムもしくはキーグループプログラムします。
- 2. Menu Program Edit をタップして Program Edit モードを開きます。
- 3. Samples タブをタップして最初のページを開きます。
- 4. Tail Length パラメーターを使用してサンプルテイルを有効化して 長さを設定します。
- 5. Tail Start パラメーターを使用してループの開始地点を設定します。 ディレイ効果を得るために短い値に設定したり、はっきりとしたルー プ効果を得るためには、より長い値を設定します。

			₹	(•]			📨 े 🖁
							1.780 , 1.1.840 , 1.1.94 Q
	LAYER 1 DeepHouse-Rick-DH Kik 14						
i SAM Dee							
					< REVERSE		
	O WARP						BPM SYNC
MAS	TER	SAMPLES	ENVELOP	PES	LFO	MODULATIONS	EFFECTS



ドラム FX / Drum FX

内蔵の Drum FX を使用して、ドラムプログラムのサンプルに素早くエフェクトを加えることができます。

Drum FX を使用するには:

.

•

- 1. Drum プログラムをロードします。
- 2. Menu を押して、Program Edit モードを開きます。
- 3. Effects タブをダブルタップして 2 ページ目を開きます。
- 4. 8つの使用可能な Drum FX のスロットがあり、それぞれのパラメ ーターが調整可能です。:
 - Ring Mod
 Rectifier
 - Bit Crush Bass Enhancer (Tight)
 - Bass Enhancer (Medium)
 - Tube Drive Bass Enhancer (Wide)

 - Low Pass
 Gain
 - High Pass
- 5. **Type** ドロップダウンメニューを使用して各スロットのエフェクトを選 択し、それぞれのノブを回してパラメーターを調整します。

ランダマイズ / Randomization

Drum および Keygroup プログラムに Randomization セクションが搭載されました。このパラメーターをランダマイズすることで、ドラムサンプルやキーグループプログラムに微細な効果を加えることができます。

Randomization のパラメーターを調整するには:

- 1. Drum もしくは Keygroup プログラムをロードします。
- 2. Menu を押してから、Program Edit モードを開きます。
- 3. Samples タブをタップして 4 ページ目に移動します。
- ノブを使用して各レイヤーで使用可能なパラメーターを調整します: Pitch、Level、Pan、Sample Offset、および Envelope (Attack、Decay、Cutoff、Resonance)。

Depth スライダーを使用して全体に適用されるランダマイズ量を コントロールします。

その他の改良 / Other Enhancements

・Drum/Keygroup プログラムにタイムステージごとに調整可能なカーブパラメーターが搭載されました。

・Drum/Keygroup プログラムに調整可能な Pitch エンベロープが搭載されました。

・Drum/Keygroup プログラムで Sample Play パラメーターをトリガーするために Note-Off オプションが使用可能になりました。

・Keygroup プログラムにプログラムオートメーションでコントロールされる Portamento、Time、Quantize、および Legato パ ラメーターが搭載されました。この機能は Porta/Mod タブの Program Edit モードからもアクセスできます。

Basse (Fight) * * A05 *

DeepHouse-		• •				s o 🖁
LAYER						
🝵 Kick-DH Kik 08	•		\bigcirc			
🝵 Kick-DH Kik 14					DECAY 0	
None			\bigcirc	0	CUTOFF 0	
None			0	0	RES	100
MASTER	SAMPLES	ENVELOPES	LFO	MODULA	TIONS	EFFECTS





ファイルブラウザの改善

MPC ファイルブラウザは再帰検索が可能になりました。ファイルを検索する際、検索語を入力すると MPC はデフォルトで現在 のフォルダと全ての使用可能なサブフォルダからマッチする結果を返します。これを無効化するには、検索バーの横の歯車ア イコンをクリックしてチェックを外してください。

ファイルブラウザーでファイルのサイズ、作成日、および更新日を確認できるようになりました。検索バーの下の歯車アイコン をタップしてブラウザー設定ウィンドウを開いてから、表示させたいオプションをタップして有効化してください。

ファイルブラウザーで項目ごとにファイルの順番を並べ替えることができるようになりました。ヘッダーをタップしてファイルを昇順・降順に並べ替えることができます。

ファイルブラウザーでファイルをプラグインのプリセットごとにフィルターできるようになりました。フィルターのプラグアイコンをタップしてプラグインのプリセットファイルのみを表示させることができるようになりました。

Sample Assign タブでサンプルをタップしてパッドにドラッグできるようになりました。Shift を押しながらタップしてドラッグすると、赤いバーで示されたパッドの特定のレイヤーにサンプルを追加することができるようになりました。

キー検出

MPC はメロディーを持ったサンプルをロードした後に、キーを自動的に検出するようになりました。

サンプルのキーを表示するには、サンプルをロードして Sample Edit もしくは Program Edit モードで開きます。

CV プログラム操作の拡張

CV プログラムをメロディーもしくはドラムの操作に設定することができるようになりました。Melodic CV プログラムはこれまでの MPC と同様の挙動です。Drum CV プログラムは、任意のパッドから任意の CV ポートへの出力を設定することができます。

CV プログラムのタイプを設定するには:

- 1. CV プログラムに切り替える。
- メインモードの Program セクションで、鍵盤アイコンをタップして Melodic プログラムを選択するか、パッドアイコンをタップして Drum 操作を選択します。

Drum タイプの CV プログラムのアサインをエディットするには:

- CV Drum プログラムを追加した後、Program Inspector ウィンドウ で CV Map の横の Edit をクリックします。
- 2. 表示されたウィンドウで:
 - Pad フィールドを使用してエディットするパッドを選択します。
 - To Port フィールドを使用してパッドがデータを送信する CV ポートを選択します。
 - Data Type フィールドを使用して送信するデータのタイプを選択します: Gate、Velocity、もしくは Note。







MIDI Program のリネーム

MIDI プログラムで全てのコントロールに名前を付けることがで きるようになりました。MIDI プログラムに名前を付けてセーブ して MPC プロジェクトで使用することができます。

MIDI コントロールに名前を付けるには:

- 1. MIDI プログラムを選択する。
- Menu を押してから、Program Edit をタップして Program Edit モードを開きます。
- 3. スクリーン上部の Edit ボタンをタップします。
- MIDI Control ドロップダウンメニューをタップしてそれぞれ のコントロールの MIDI アサインを選択します。
- 5. **鉛筆アイコン**をタップして表示されたキーボードで、選択したコントロールの名前をエディットします。



MIDI モニター / MIDI Monitor

内蔵の MIDI モニターを使用して、受信した MIDI メッセージを モニターできるようになりました。

受信した MIDI データを表示するには、メインモードかメニュー のツールバーで MIDI In/Out アイコンをタップします。MIDI Monitor ポップアップが直近 10 件の送信もしくは受信した MIDI メッセージを表示します。

- ・In をタップして受信中の MIDI メッセージを表示します。
- ・Out をタップして送信中の MIDI メッセージを表示します。
- •Clear をタップしてモニターのログを消去します。
- •Close か X をタップして前画面に戻ります。

Undo 履歴 / Undo History

MPC 本体で Undo 履歴を確認できるようになりました。

Undo History ウィンドウを表示するには、Menu を開いて時 計アイコンをタップします。直近 10 件の Undo(Redo)可能な 操作が順番に一覧表示されます。各ステップは# 欄で数字で 表されています。各操作の名前は Action 欄に表示され、 Detail 欄に追加情報が表示されます。

・Undo ボタンをタップして直前の操作を取り消します。

・Redo ボタンをタップして取り消した操作を再実行します。

マゼンタ色の操作マーカーが現在の「Undo 状態」の位置(直前の操作)を表します。.

・一度に複数の操作を Undo もしくは Redo するには、操作マーカーをクリックしてから一覧の目的の位置にドラッグします。 プロジェクトは直ちにその時点の状態に戻ります。やり直し可能な操作(操作マーカーの下部)はグレーアウトします。

・Close か X をタップして Undo 履歴ウィンドウを閉じて全画面に戻ります。

		Pitchbend	MP	K mini 3 MI			23% (10101)	
		Control change 1	6 MP	K mini 3 MI			Gen Purpose 1: 33	
		Control change 1	6 MP	K mini 3 MI			Gen Purpose 1: 40	
		Pitchbend	MP	K mini 3 MI			0% (8192)	
		Control change 1	6 MP	K mini 3 MI			Gen Purpose 1: 60	
		Note off	MP	K mini 3 MI		EЗ	Velocity 0% (0)	
		Control change 1	6 MP	K mini 3 MI			Gen Purpose 1: 64	
		Note off	MP	K mini 3 MI		G3	Velocity 0% (0)	
		Control change 1	6 MP	K mini 3 MI			Gen Purpose 1: 1	
		Control change 1	6 MP	K mini 3 MI			Gen Purpose 1: 2	
		IN	OUT	c	LEAR		CLOSE	

Change Event Selection		
Modify Events		
Draw automation		
Draw automation		
UNDO	REDO CLOSE	
6 1 1 1 - 1 N		



新しい機能

MPC Studio mk2 に対応

MPC 2.10.1 は Akai Professional MPC Studio mk2 ハードウェアに対応しました。MPC Studio mk2 は、スタンドアローンで は動作しません。MPC Software 用の MIDI コントローラーです。

MPC Studio 2 で MPC ソフトウェアの様々なモード、パラメーター、および機能にアクセスする方法を説明します。MPC ソフト ウェアの使い方を詳しく学ぶには、MPC Software のユーザーガイドを参照してください。これは MPC ソフトウェアを開き、メニ ューの Help > MPC Help > MPC Software Manual からアクセスすることができます。

タッチストリップ とタッチ FX

MPC は新しいタッチ FX のインサートエフェクトを含む、レベルやノートに対して豊かな表現が可能な MPC Studio のタッチス トリップコントロールに対応しました。指をタッチストリップに沿って動かすと、現在の位置がパラメーターの値を決定します。

MPC Studio でタッチストリップを使用するには:

- 1. Touch Strip ボタンを押して Touch Strip モードに入ります。
- もう一度 Touch Strip ボタンを押して MPC Studio のディスプレイで表示される使用可能な Touch Strip モードを切り替えます:
 - Touch FX

Sustain

•

- Expression
- Notes
 Q-Link
 - Pitch Bend Pad level
- Mod Wheel
 - Project

Touch Strip ボタンが有効な間、データダイアルや-/+ ボタンを使用してモードを切り替えることができます。各モードの詳細については下記を参照してください。

Program Level

- 3. タッチストリップに指を載せて上下させると、選択したパラメーターをコントロールすることができます。
- 4. Shift を押しながら Touch Strip ボタンを押して各モードの設定を編集します。詳細については下記を参照してください。

タッチスクリーン付きの MPC ハードウェアからタッチ FX プラグインをロードするには:

- 1. いずれかのチャンネルの Inserts セクションの空いているスロットをタップします。
- 2. Effects ウィンドウの空いているインサートスロットをダブルタップし、プラグインエフェクトのリストを開きます。
- 3. + かーボタンをタップして Harmonic のカテゴリーを拡張します。
- 4. TouchFX プラグインを選択します。
- 5. **鉛筆アイコン**をタップしてプラグインウィンドウを開き、プラグインの設定を調節したり、エフェクトをコントロールするための バーチャルタッチストリップを使用することができます。



タッチ FX / Touch FX

このモードを選択してタッチストリップを使用してエフェクトのパラメーターをコントロールします。コントロールするエフェクトは選択した出力のインサートエフェクトのような挙動をします。

MPC Studio から Touch FX の設定を編集するには:

- 1. Shift を押しながら Touch Strip ボタンを押してソフトウェアで Touch FX Setup ウィンドウを開きます。
- Touch FX Destination フィールドを使用して、どこに Touch FX をかけるかを選択します。現在のプログラム、リターン、 サブミックス、もしくはアウトプットから選択できます。Insert Touch FX ボタンを苦シックして選択した先に Touch FX を追 加します。
- 3. Touch FX がインサートに追加すると、Shift を押しながら再び Touch Strip ボタンを押してソフトウェアで Touch FX Setup ウィンドウを開き、さらに設定を編集することができます:

Touch FX Preset: このフィールドを使用して、チャンネルに目的のエフェクトを選択します。Touch FX がインサートされると、データダイアルや-/+ ボタンを使用してディスプレイに表示されたプリセットを切り替えることもできます。各エフェクトの特定のパラメーターはウィンドウ下部の Touch FX Setup をクリックして設定することができます。

Latch:タッチストリップを離した後も値をキープするには、このボックスをチェックします。この値は XY パッドの他の場所に触れるか、Latch を無効にするまで保持されます。

Touch > Wet/Dry: ウィンドウ下部の Touch FX Setup をクリックして設定した Assigned Parameter に対して、 タッチストリップで Wet/Dry 量をコントロールするには、このボックスをチェックします。

Wet/Dry:このスライダで、オリジナル信号(ドライ)とエフェクト信号(ウェット)のブレンドを設定します。

Attack:このスライダーを使って、タッチ・ストリップに触れたときに発生するエンベロープのアタック・フェーズの長 さを設定します。つまり、タッチしてからエフェクトが完全に反応するまでの時間を設定します。

Release: このスライダーを使って、タッチ・ストリップを離したときにトリガーされるエンベロープのリリース・フェーズの長さを設定します。タッチストリップから指を離した後、エフェクトが完全に解除されるまでの時間を設定します。

Touch FX Setup:本ソフトウェアのウィンドウ下部にあるこのボタンをクリックすると、エフェクトプラグインのセット アップウィンドウが開き、選択したプリセットのパラメーターを変更することができます。

このウィンドウでは、Assigned パラメーターフィールドを使って、タッチストリップで制御するプリセットパラメーターを選択することもできます。これは、Touch > Wet/Dry の設定により、ウェット/ドライ量の制御とは別に、またはウェット/ドライ量の制御に加えて行うことができます。

Touch FX Setup ウィンドウを閉じるには、ソフトウェアで Close をクリックするか、Shift を押しながら Touch Strip ボタンを もう一度押してください。





Touch FX プラグインウィンドウ左側の操作子を使用して MPC Studio の **Touch Strip** コントロールの設定を調整します。タッ チスクリーン上のバーチャルなタッチストリップを使用して MIDI コントールにアサインすれば、他のハードウェアをタッチストリッ プでコントロールすることができます。

Touch Strip: MPC Studio のタッチストリップ操作子を表し、ソフトウェアから手動でクリックやドラッグしたり、ハードウェアのタッチスクリーンからタップやドラッグしたり、MIDIコントロールにアサインして操作することができます。選択したタッチFX をコントロールするために使用します。

Touch Enable: このボックスをタップして、選択中のタッチ FX に対するタッチコントロールを有効にします。

Assigned Parameter: このフィールドを使用して、タッチストリップで操作するパラメーターを選択します。Touch > Wet/Dry の設定によって、Wet/Dry 量とは別に、もしくはそれに加えてコントロールすることができます。

Touch Value: このスライダーを使用して、タッチストリップでコントロールされる Assigned Parameter の値を設定します。

Wet Amount: このスライダーを使用して、元の信号とエフェクト信号の割合を設定します。

Touch Value / Wet/Dry Lock: Assigned Parameter の値に加えて Wet/Dry 量をコントロールするためにタッチストリップを使用するには、錠前アイコンをタップします。

Touch Attack:このスライダーを使用して、タッチストリップを動かすとトリガーされるエンベロープのアタックの長さを設定します。

Touch Release: このスライダーを使用して、タッチストリップを離すとトリガーされるエンベロープのリリースの長さを設定します。

Touch FX プラグインウィンドウ右側の操作子を使用して Touch FX の種類を選択して設定を調整します。ウィンドウ上部から プリセットを選択することもできます。

Manual Filter

タッチストリップは固定されたモジュレーショ	1 パラメーター	数値範囲	Default Value
ンなしのマルチモードのフィルターをコント ロールします。	Cutoff	40.00–10000 Hz	2530.00 Hz
	Resonance	0.00–1.00	0.50
	Mode	LowPass、BandPass、HiPass	LowPass

MPC

Beat Sync Filter

タッチストリップは LFO によってカットオフ 周波数を変調されたマルチモードのフィル ターをコントロールし、プロジェクトのテンポ に同期することができます。

パラメーター	数値範囲	Default Value
Cutoff	40.00–10000 Hz	34737.15 Hz
Resonance	0.00–1.00	0.50
Manual Speed	Off、0.10–50.00 Hz	Off
Depth	0.0–100.0%	50.0%
Mode	LowPass、BandPass、HiPass	BandPass
Shape	Ramp Up、Ramp Down、Triangle、 Sine、Square、Random1、Random2	Ramp Up
Sync Speed	Off、2 Bars、1 Bar、1/2、1/4、1/4t、 1/8、1/8t、1/16、1/16t、1/32、1/64	1/4

Beat Sync Delay

タッチストリップはプロジェクトのテンポに同 期した間隔で元の信号のインスタンスのリ ピートをコントロールします。

パラメーター	数值範囲	Default Value
Cutoff	40.00–10000 Hz	3052.90 Hz
Resonance	0.00–1.00	0.50
Feedback	-99.00 - 0.00 - 99.00	49.50
Diffusion	0.00-1.00%	0.50%
Mode	LowPass、BandPass、HiPass	LowPass
Delay Time	1 Bar、1/2、1/4、1/4t、1/8、1/8t、 1/16、1/16t、1/32、1/64	1/4
Delay Mode	Normal、Cross-Feedback、Ping-Pong	Normal
Octave Mode	Off、On	Off

Beat Repeat

タッチストリップはソースとなるオーディオを テンポに同期した拍でスライスしてリピート するエフェクトをコントロールします。

パラメーター	数值範囲	Default Value
Cutoff	40.00–10000 Hz	2530.00 Hz
Resonance	0.00–1.00	0.50
Mode	LowPass、BandPass、HiPass	LowPass
Delay Time	1/2、1/4、1/4t、1/8、1/8t、1/16、1/16t、 1/32、1/64	1/4
Reverse	Off、On	Off

Tape Stop

タッチストリップはアナログテープの再生速	パラメーター	数值範囲	Default Value
度の低下をエミュレートするテーブストップ エフェクトをコントロールします。	Cutoff	40.00–10000 Hz	2530.00 Hz
	Manual Stop Time	1.00 – 4.00 s	2.50 s
	Sync Stop Time	Off、1/4、1/4t、1/8、1/8t、1/16、	Off

Phaser

タッチストリップは周波数スペクトラム上で "ノッチ"や鋭いトゲを作り出す複数のオー ル・パスフィルターによって生み出されたフ ェイザーをコントロールします。これらのオ ール・パスフィルターは LFO によって変調 されうねる様な音を作成します。

パラメーター	数值範囲	Default Value
Feedback	0.0–100.0%	100.0%
Manual Speed	0.10–50.00 Hz	Off
Sync Speed	Off、2 Bars、1 Bar、1/2、1/4、1/4t、 1/8、1/8t、1/16、1/16t、1/32、1/64	1/4

1/16t、1/32、1/64

Comb Filter

タッチストリップは、オーディオ信号を遅ら せてから自身に戻すことで、周波数スペクト ラム上でフェイザーのような"ノッチ"を作り 出すコームフィルターをコントロールしま す。

パラメーター	数值範囲	Default Value
Feedback	0.0–100.0%	100.0%
Manual Speed	0.10–50.00 Hz	Off
Sync Speed	Off、2 Bars、1 Bar、1/2、1/4、1/4t、 1/8、1/8t、1/16、1/16t、1/32、1/64	1/4

Washout

タッチストリップはトランジションを作成する のに便利なエコーエフェクトをコントロール します。

パラメーター	数値範囲	Default Value
Cutoff	40.00–9000 Hz	1160.00 Hz
Resonance	0.00–100.00%	0.50%
Feedback	0.00–100.00%	0.50%
Diffusion	0.0–10000.0%	5000.0%
Delay Time	1 Bar、1/2、1/4、1/4t、1/8、1/8t、 1/16、1/16t、1/32、1/64	1 Bar

MPC

Granulator

タッチストリップは入力されたオーディオを、 ループ、ピッチシフトなどの新しい興味深い 方法で操作するための小さな音素材の粒 に変換するグラニュラーエフェクトをコントロ ールします。	パラメーター	数値範囲	Default Value
	Density	1.0-300.0 grains/sec	150.0 grains/sec
	Window Length	20.0–1000.0 ms	510.0 ms
	Grain Length	10.0–200.0 ms	105.0 ms
	Grain Feedback	-99.00 - 0.00 - 99.00	0.0%
	Pitch	-12.0 – 0.0 – 12.0 semi	0.0 semi

Manual Flanger

タッチストリップは 2 つのアナログテープマ	パラメーター	数値範囲	Default Value
シンをわずかな時間差で並列に走らせた 時に発生する変調されたディレイであるフラ	Frequency	100.00–4000.00 Hz	4000.00 Hz
ンジャーエフェクトをコントロールします。	Feedback	0.0–100.0%	100.0%

0.0-100.0%

ノート / Notes

このモードを選択して、選択したプログラムでタッチストリップをノート演奏に使用します。

Note の設定を編集するには、Shift を押しながら Touch Strip ボタンを押して、ソフトウェア上で Touch Strip Notes Config ウィンドウを開きます。

Root Note: このフィールドを使用してスケールのルート音を設定します。

Scale: このフィールドを使用してスケールの種類を設定します。

Octave: このフィールドを使用してルート音の開始オクターブを設定します。

Velocity: このフィールドを使用してタッチストリップで演奏されるノートのベロシティを設定します。

Stereo Spread

Number of Notes: このフィールドを使用してタッチストリップで演奏可能なノートの範囲を設定します。

ピッチベンド / Pitch Bend

このモードを選択して、タッチストリップをピッチベンドをコントロールするピッチホイールのように使用します。

Pitch Bend の設定を編集するには、Shift を押しながら **Touch Strip** ボタンを押してソフトウェアで Pitch Bend Settings ウィンドウを開きます。

Relative Mode: チェックされている時、最初に指で触れる場所がタッチストリップの位置に関わらず中央のピッチに設定されます。チェックされていない時、タッチストリップは固定のノートで中央に設定されます。

Bend Up Range: このフィールドを使用してピッチベンドアップのセミトーン単位での可変幅を設定します。

Bend Down Range: このフィールドを使用してピッチベンドダウンのセミトーン単位での可変幅を設定します。

メモ: Pitch Bend のレンジは MPC インストゥルメンツのみに適用され、サードパーティーのプラグインには適用されません。

Global Pitch Bend: このボックスをチェックして、全てのプログラムにピッチベンドを適用します。

モジュレーションホイール / Mod Wheel

ー般的なキーボードに搭載されたモジュレーションホイールのように、タッチストリップを使用して MIDI CC1 のモジュレーション をコントロールするには、このモードを選択します。

MPC

0.0%



サステイン / Sustain

サステインペダルのようにタッチストリップを使用してノートのサステインをコントロールできます。

エクスプレッション / Expression

外部エクスプレッションペダルのようにタッチストリップを使用して MIDI CC11 をコントロールできます。

Qリンク/Q-Link

他の MPC ハードウェアに搭載されて Q-Link のようにタッチストリップを使用するには、このモードを選択します。

Q-Link の設定を編集するには、Shift を押しながら Touch Strip ボタンを押して Touch Strip Q-Link ウィンドウを開きます。

Q-Link: このフィールドを使用してどの Q-Link がタッチストリップでコントロールされるか選択します。ソフトウェアで Touch Strip Q-Link ウィンドウが開いている間に 16 個のパッドのいずれかを押して選択することもできます。

パッドレベル / Pad Level

タッチストリップを使用して現在のパッドの音量をコントロールするには、このモードを選択します。

プログラムレベル / Program Level

タッチストリップを使用して現在のプログラムの音量をコントロールするには、このモードを選択します。

プロジェクト / Project

プロジェクトのパラメーターをタッチストリップにアサインするには、このモードを選択します。

プロジェクトの設定を編集するには、Shift を押しながら Touch Strip ボタンを押してソフトウェアで Touch Strip Project Mode Config ウィンドウを開きます。

Source: このフィールドを使用してプロジェクトパラメーターのロケーションを選択します: MIDI トラック、オーディオトラック、 プログラム(およびパッド)、リターン、サブミックスもしくはメイン(出力)。

Parameter: このフィールドを使用してタッチストリップでコントロールするプロジェクトパラメーターを選択します。使用可能なパラメーターは選択した Source の種類によって変わります。

ソースで MIDI Track を選択した時:

Off Mixer: Volume, Pan, Mute, Solo

ソースで Audio Track を選択した時:

Off

Mixer: Volume, Pan, Mute, Solo, Send 1–4

Insert 1-4: エフェクトによって利用可能なその他のパラメーター

ソースで Program を選択し、パラメーターで Program が選択されている時:

Off

Mixer: Volume, Pan, Mute, Solo, Send 1–4

Program: Master Semi Tune、Master Fine Tune

Insert 1-4: エフェクトによって利用可能なその他のパラメーター



ソースで Program を選択し、パラメーターで Pad が選択されている時: Off Mixer: Level, Pan, Pad Mute, Pad Solo, Send 1-4 Program: Tuning Filter Env Decay Curve Layer Fine Tune (1–4) Layer Offset (1-4) Filter Cutoff Filter Env Release Curve Velocity to Start Laver Loop Xfade (1-4) Filter Resonance Pitch Env Attack Vel to Filter Attack Layer Loop Xfade Type (1-4) Filter Env Amount Pitch Env Hold Velocity to Env Amount Layer Slice Tail Length (1-4) Amp Env Attack Pitch Env Decay Velocity to Filter Layer Slice Tail Start (1-4) Pitch Env Sustain LFO to Pitch Amp Env Decay Layer Pitch Random (1–4) LFO to Filter Amp Env Release Pitch Env Release Laver Level Random (1-4) Amp Env Hold Pitch Env Decay Mode LFO to Amp Layer Pan Random (1–4) Amp Env Sustain Pitch Env Attack Curve LFO to Pan Layer Offset Random (1-4) Filter Env Attack Pitch Env Decay Curve LFO Wave Attack Random Filter Env Hold Pitch Env Release Curve LFO Rate Decay Random Filter Env Decay Pitch Env Depth LFO Sync Cutoff Random Filter Env Sustain Pitch Env Type Velocity to Pitch **Resonance Random** Filter Env Release Vel to Volume Attack Total Random Amount DrumFX (1-8) Amp Env Attack Curve DrumFX Type (1-8) Velocity to Amp LFO Level LFO Delay Amp Env Decay Curve Layer Level (1-4) Velocity to Pan LFO Fade In Amp Env Release Curve Layer Sample Pan (1–4) Layer Slice (1-4) Filter Env Attack Curve Layer Semi Tune (1–4) Layer Reverse (1-4)

Insert 1-4: Other available パラメーターs depending on the effect

ソースで Return を選択した時:

Off / Mixer: Volume、Pan、Mute / Insert 1-4: エフェクトによって利用可能なその他のパラメーター

ソースで Submix を選択した時:

Off / Mixer: Volume、Pan、Mute、Send 1-4 / Insert 1-4: エフェクトによって利用可能なその他パラメーター

ソースで Master を選択した時:

Off / Mixer: Volume、Pan、Mute / Insert 1-4: エフェクトによって利用可能なその他のパラメーター

Momentary: このボックスをチェックしてモメンタリーをオン・オフします。

オンの時、タッチストリップから指を離すとパラメーターは直ちに元の値に戻ります。

オフの時、タッチストリップから指を離してもパラメーターは現在の値を保持します。

ノートリピート / Note Repeat

タッチストリップを使用して Note Repeat をコントロールすることもできます。

Note Repeat を有効にするには、Note Repeat ボタンを長押しします。タッチストリップを使用して横の LED で表示されるレートをコントロールすることができます。

Note Repeat をラッチするには、Shift を押しながら Note Repeat ボタンを押します。ラッチされている場合、ノートリピートを 有効にするためにタッチストリップを触り続ける必要はありません。



akaipro.com